

人肌牡丹（1959）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
初公開日 1959/01/03

【解説】

同年に公開され大ヒットを記録した「人肌孔雀」の姉妹編で、主演は同じく山本富士子と市川雷蔵。脚本と監督も同作に引き続き松村正温と森一生が務めた。

侍に母を斬られた深雪は、母の形見である鈴を携え、故郷の加賀を訪れる。加賀藩の分家佐山能登守と国家老泊兵庫は、病弱な当主の利秀を亡き者にして実権を握ろうと画策していた。利秀の近習である佐久間伊織は江戸家老に救いを求める書状を作成、腰元の園絵を密使として江戸に向かわせる。途中で陰謀派の剣客に襲われた園絵を助けたのは虚無僧に化けた深雪だった。だが密書は盗人の源三の手に渡ってしまい…。

【クレジット】

監督 森一生
製作 酒井箴
企画 山崎昭郎
脚本 松村正温
撮影 相坂操一
美術 内藤昭
音楽 斎藤一郎
出演 山本富士子
市川雷蔵
梅若正二
三田登喜子
近藤美恵子
田崎潤